

令和6年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		忠岡町総合福祉センター及び東忠岡老人いこいの家			
指定管理者の名称		株式会社ビケンテクノ	指定期間	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	
施設設置目的		総合福祉センターは、老人、身体障がい者、母子福祉会々員等に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための供与することにより、社会福祉の向上を図ることを目的としています。 老人いこいの家は、老人に集会、その他自治活動の場を提供し、老人福祉の向上と地域社会の振興を図ることを目的としています。			
主な実施事業		・映画観賞会 ・ヤクルト健康セミナー ・卓球教室 ・脳活体操 ・編み物教室 ・バンパー大会 ・ヨガ教室 ・手作りキーホルダー ・クリスマス会			
収支の推移 (単位：千円)					
区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入	指定管理料	17,285	17,405	17,405	
	料金収入等	0	0	0	
	自主事業収入	406	468	586	
	その他	0	0	0	
支出	指定事業費	17,234	17,332	16,839	
	うち人件費等	8,150	8,689	8,007	
	うち再委託費	3,312	3,416	3,450	
	自主事業費	515	467	493	
収支		△58	74	659	
①サービスの履行の確認	評価項目	評価基準		自己評価	所管評価
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。		A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。		A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。		A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に町の承認を受けており適切である。		A	A
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。		A	A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。		A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。		A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。		A	A
	情報公開管理記録	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。		A	A
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。		A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。		A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。		A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を町に提出している。		A	A
		町、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。		A	A
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。		A	A	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。		A	A	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、町に報告を行った。		A	A	

	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	A
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A	
	要望、苦情等を整理し、遅滞なく町に報告している。	A	A	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A	
③サービスの安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費削減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
評価	S (水準以上)	仕様書等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。		
	A (適正)	仕様書等の水準を満たす管理が行われている。		
	B (一部課題あり)	仕様書等の水準を満たしているが、一部に課題がある。		
	C (水準未滿)	仕様書等の水準を満たしていない。		
評価の観点		評価	評価の観点	評価
①サービスの履行の確認		A	②サービスの質の評価	A
				③サービスの安定性の評価
				A
総合評価 良好 妥当 一部要努力 要努力				
評価		説明		前年評価
良好		仕様書等の水準を満たした運営をしており、また、利用者の意見も取り入れた事業実施ができています。		A
前年度評価結果を受けた対応と今後の課題等				
昨年同様、法的には定められていない点検項目ではありますが、開館後実施されていなかった出入口の自動扉定期点検を昨年度より製造業者へ委託し実施しています。これは、自動ドアの開閉による事故を未然に防止し、常に安全に来館していただく為、今年度以降も継続して実施してまいります。				